



【取扱説明書】

この度は当社商品をお買い上げ頂き有難うございます。
本書は製品を正しくご使用頂く使い方・製品説明及び注意事項を記載して
おります。必ず本書をお読みになってから製品の取付作業、ご利用を行って
下さい。

警告 下記記載の内容をお守り下さい。お守り頂かないと
火災・感電・故障・怪我の原因となります。

液体・異物が入らないように注意して下さい。また、本製品を高温・多湿の
場所で使用しないで下さい。

本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取付けるパソコン及び周辺機器
の取扱説明書を合わせてご確認ください。

異臭・異音がする場合はただちに使用を止め、当社までお問合せ下さい。

本製品は精密機器です。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないように
作業して下さい。

本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いて下さい。静電気が発生しにくい
衣類を身につけて作業を行って下さい。本製品を接続する前に必ずパソコンデ
ータのバックアップを行って下さい。

■下記のような場所での使用を必ず避けて下さい。
強い磁気の影響を受ける場所/静電気が発生する場所/振動を受ける場所/火気
周辺、高温多湿、結露が発生する場所/直射日光を受ける場所/平らではない場
所/漏電・漏水の可能性がある場所/電子機器の影響があつてはならない場所（
病院等）/その他、常識では考えられない場所での使用はお止め下さい。

本製品の保証は当社商品の故障に限り有効です。
その使用上生じた他製品の破損・損害及びデータ破損につきましては一切の責
任を負いません。必ず付属ケーブルに異常がないかご確認くださいと共にデータバ
ックアップを行って下さい。

特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。
本製品を廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄して下さい。
最新情報は当社製品サイトにて更新情報があり次第、ご案内していく予定です。

■目次

製品仕様・・・・・・・・・・ 2 ページ

各部の説明・・・・・・・・・・ 3 ページ

パソコンとの接続・・・・・・・・ 4 ページ

ドライバインストール・・・・・・・・ 5 ページ

入出力端子の選択方法・・・・・・・・ 8 ページ

機能メニューへアクセス・・・・・・・・ 9 ページ

Windows XP での Sound Mix・・・・ 18 ページ

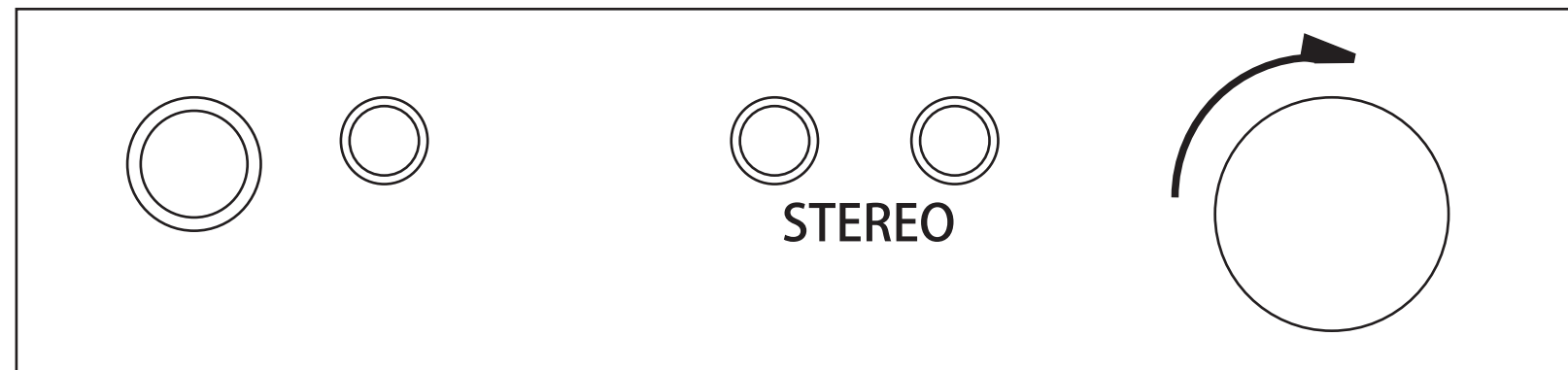
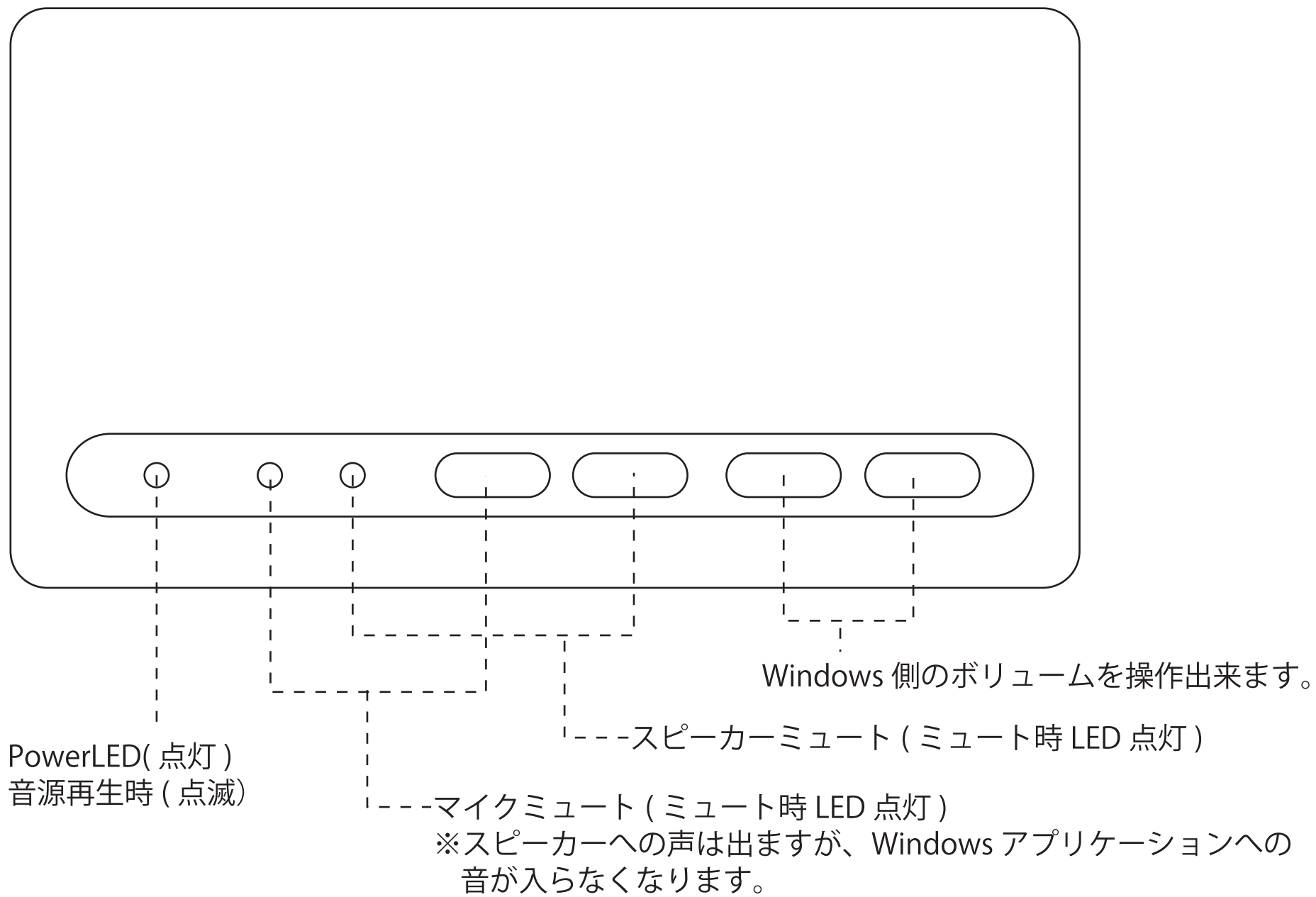
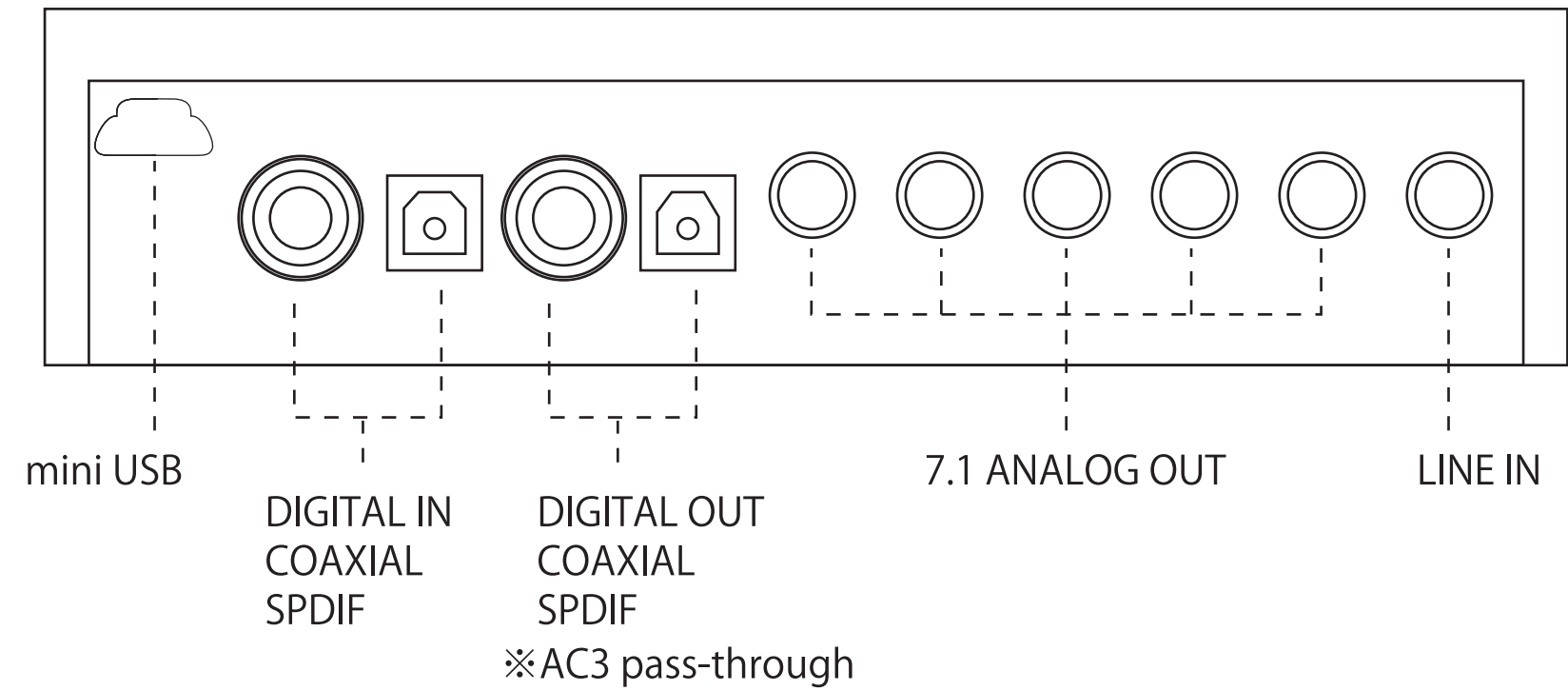
故障かと思ったら・・・・・・・・ 19 ページ

■製品仕様



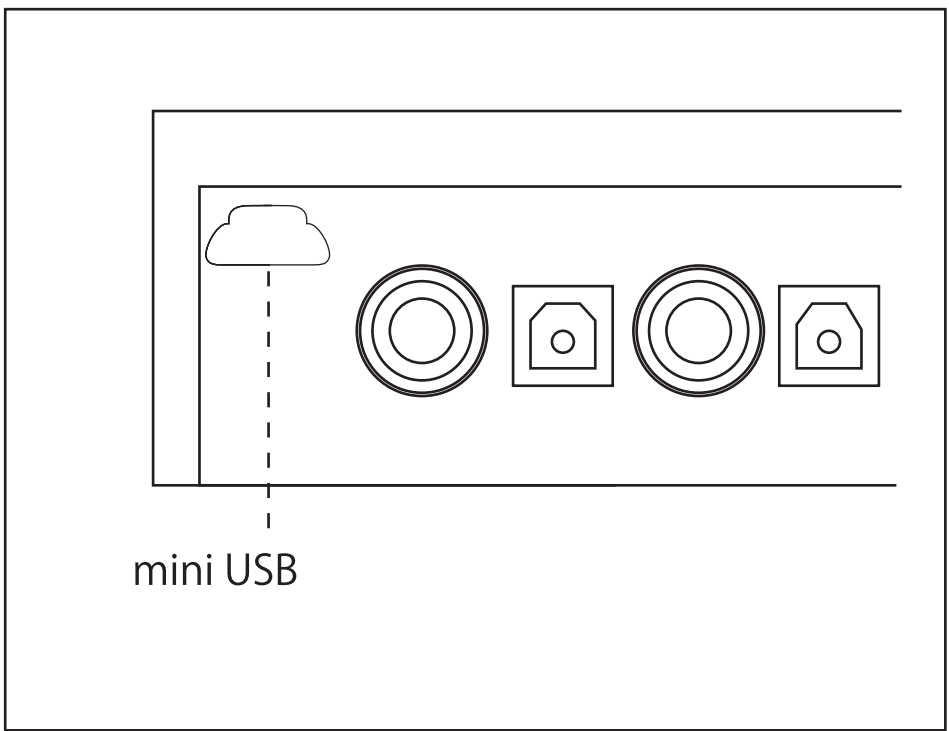
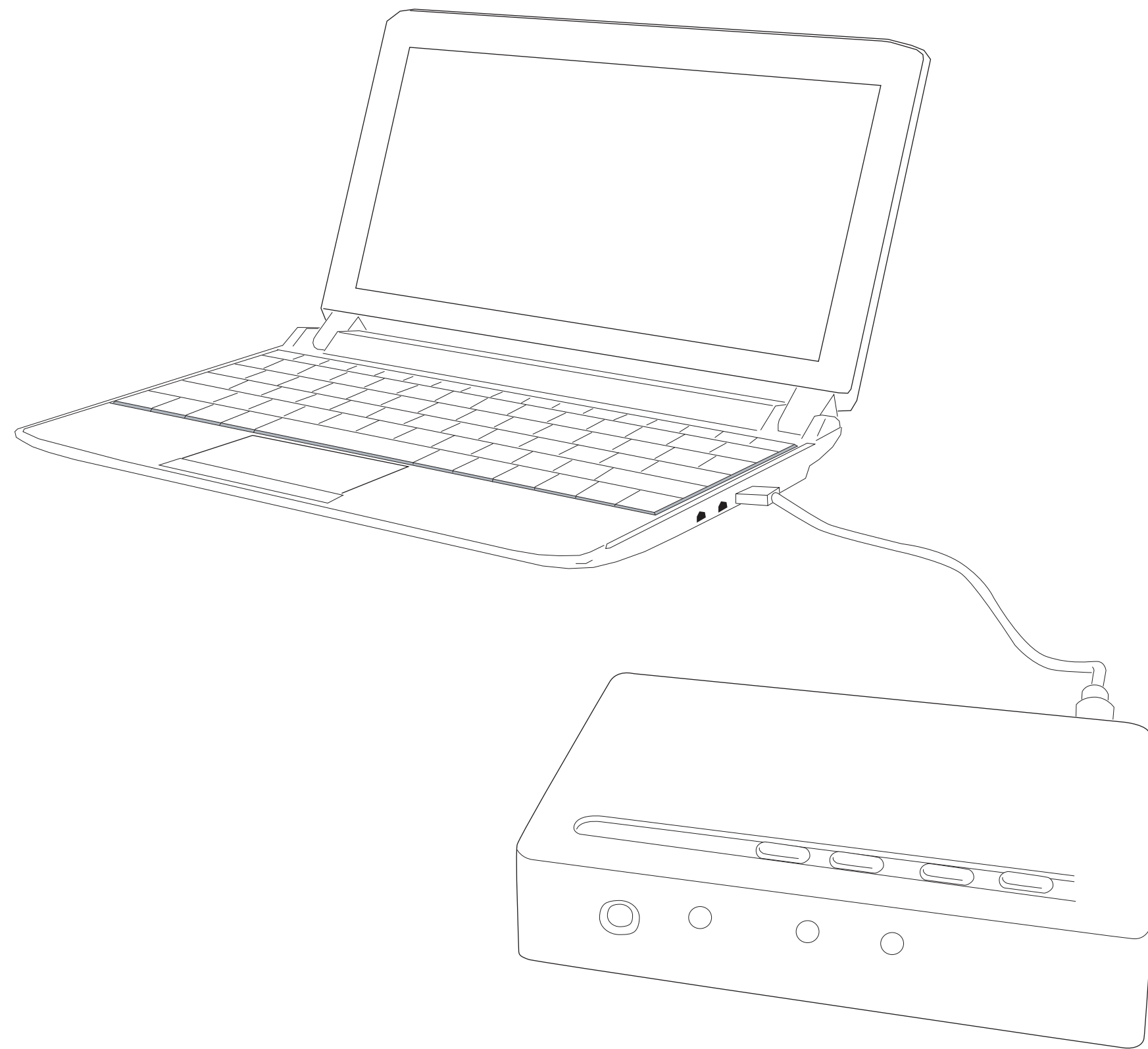
商品名	響音 DAC High Performance Line
型番	SD-U2DAC-HPL
接続	パソコンとの接続 USB2.0/1.1 TypeA 本製品とケーブルの接続 mini USB
電源	USB バスパワー (5V 500mA)
本体重量	約 164g
本体サイズ	143x107x29mm
搭載チップ	Cmedia CM6620A
出力	44.1 / 48 / 96 / 192 KHz 16 / 24 bit
SNR	around 92dB
出力端子	ANALOG 6.3 / 3.5 mm ヘッドフォン端子 : 7.1 ANALOG OUT DIGITAL SPDIF(角型) / COAXIAL (AC3 pass-through) Max. Headphone Output power (at 1KHz and single channel): around 90mW / 16ohm around 65mW / 32ohm
入力端子	ANALOG Mic MONO L / R : LINE IN DIGITAL SPDIF(角型) / COAXIAL ※SCMS を付加された信号は入力出来ません。
ASIO	サポート
付属品	USB ケーブル / 説明書 (本書) / 保証書
対応 OS	Windows 8.1 / 8 / 7 / XP SP3
保証期間	1 年

■各部の説明



■パソコンとの接続

付属の USB ケーブルを用いパソコンと本製品を接続して下さい。



本製品背面左上にあります mini USB ポートにケーブルを接続してください。

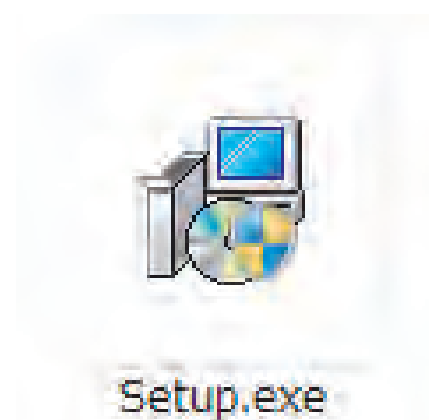
ドライバーインストール手順

製品本体をパソコンと接続して頂き、付属ドライバCD をパソコンのドライブにセットして下さい。



ドライバCD →Cmedia→ CM6620A→ Setup.exe

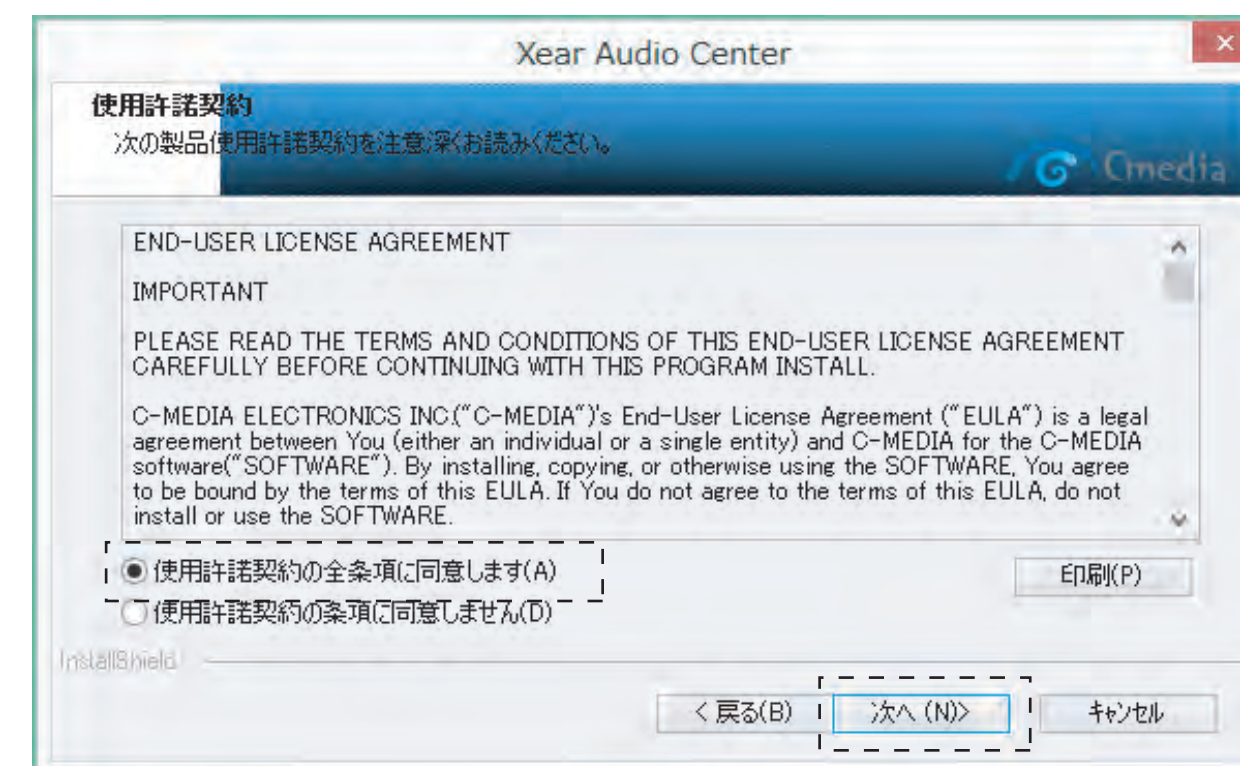
(※ドライバCD の更新により名前やフォルダの配置が変わる場合がございます。)



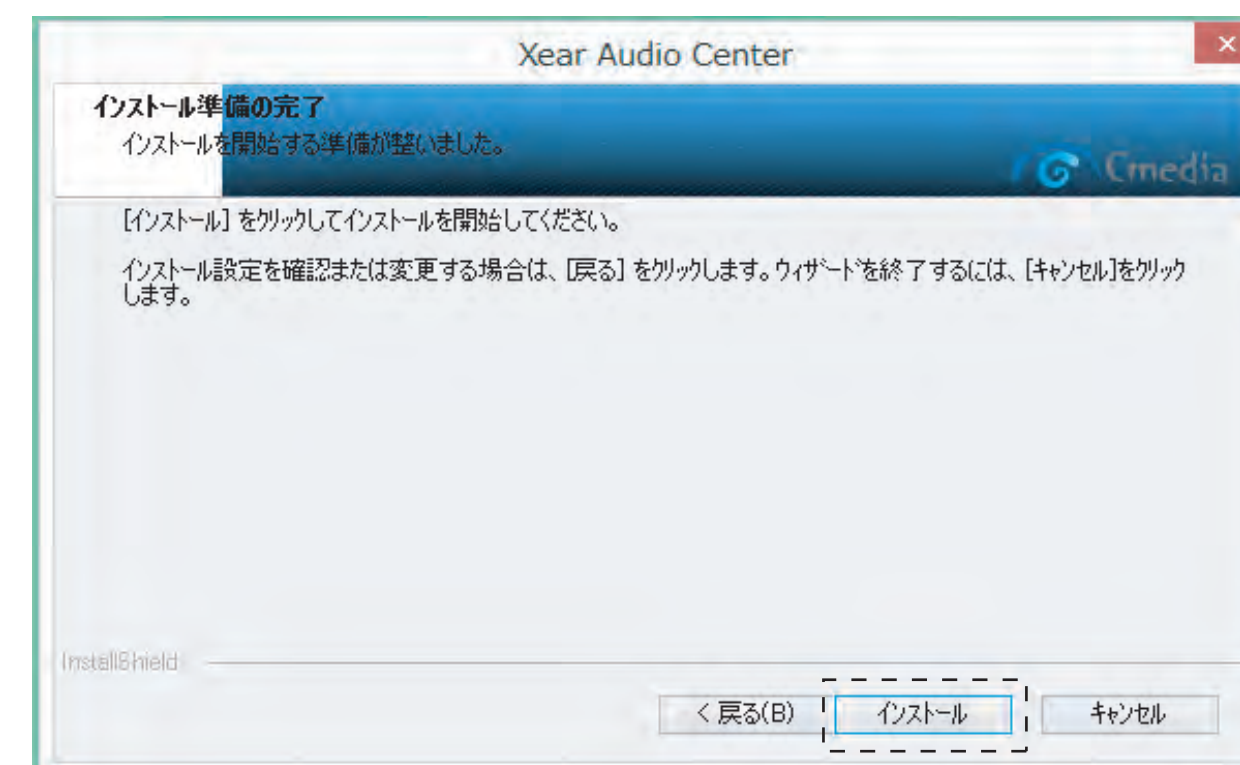
Setup.exe を実行して頂きますと下記画面に切り替わります。



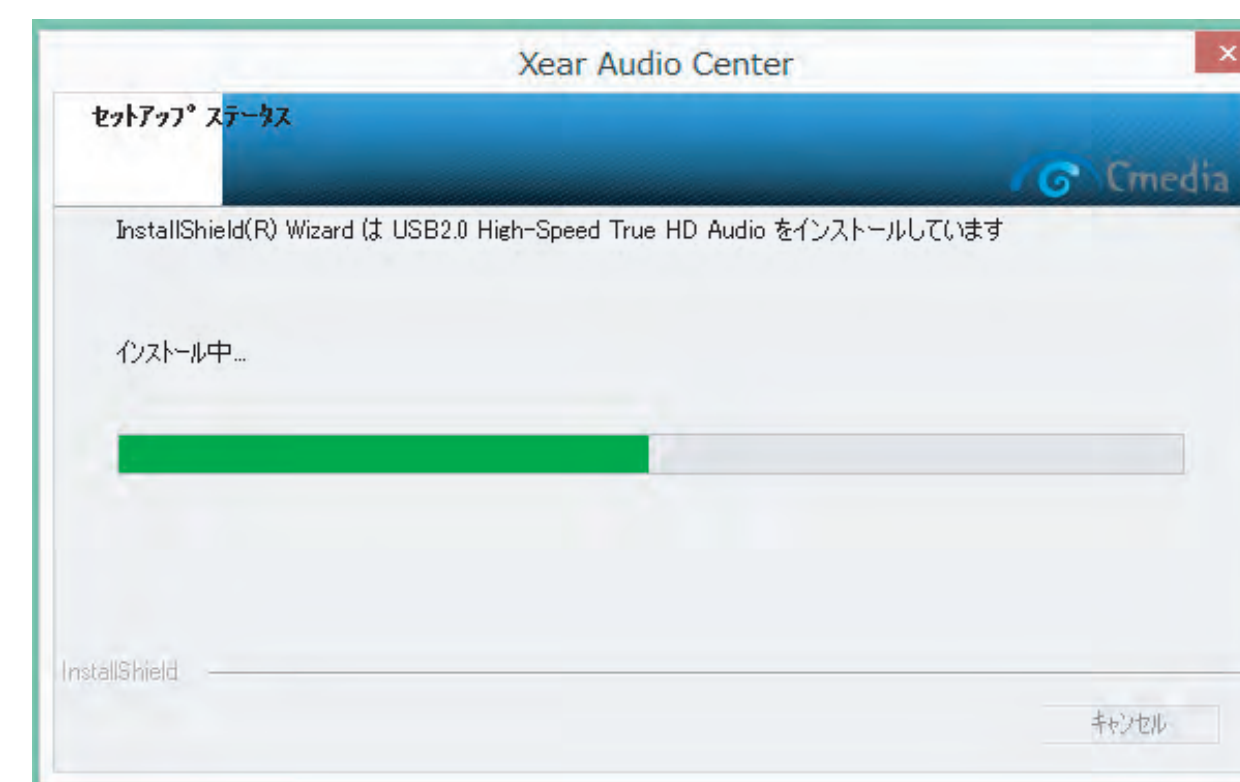
セットアップが開始しますと上記画面のような表示がでます。
「次へ」をクリックして下さい。



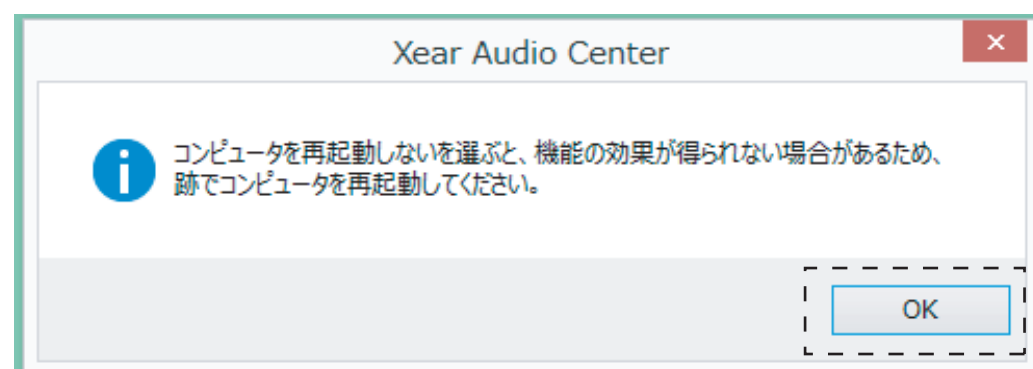
「使用許諾契約の全条項に同意します」に●を入れて頂き、「次へ」をクリックして下さい。



「インストール」をクリックして下さい。



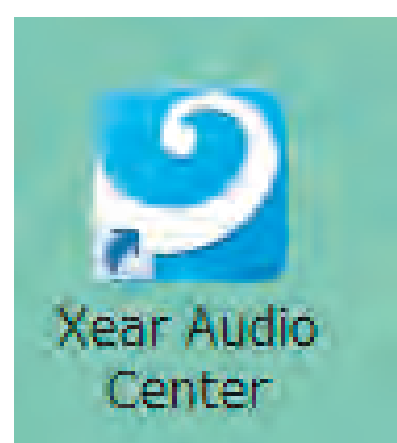
インストールが進行します。



インストール後、再起動が必要な事がアナウンスとして表示されますのでご確認ください「OK」をクリックして下さい。



今すぐ再起動するか、後で再起動をするのかを選択して頂き、「完了」をクリックして下さい。



デスクトップ上に上記アイコンが作成されます。ダブルクリックをして頂きますとソフトウェアが起動します。



ショートカットがない際はデスクトップ右下のアイコンをご確認下さい。

※ウイルスソフトやその他常駐ソフトを起動していますとインストールが出来ない場合がございます。その際は常駐ソフトを一旦停止し、インストール作業を行って下さい。

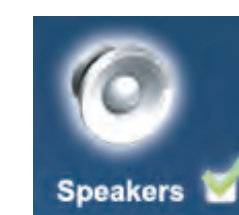
入出力端子の選択方法



ご利用になる端子に✓を入れて選択して下さい。

出力端子の選択

前面、3.5 / 6.3φ、後面、7.1 ANALOG OUT をご利用の際は



後面、DIGITAL OUT をご利用の際は

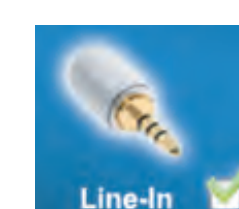


入力端子の選択

前面、3.5 マイク端子をご利用際は



後面、LINE IN をご利用の際は



後面、DIGITAL IN をご利用の際は



※DVD や Blu-ray の映像等のコンテンツによりましてはデジタル信号のコピーガードがかかり入力できません。

※ソフトウェアのアップデートにより表示画面の一部が異なる場合がございます。

機能メニューへアクセス



使用している機能のアイコンを右クリックして頂くと色々な追加機能やサウンド効果の選択ができます。



■音量コントロール

マスターは全体のボリューム調整となります。前方は選択している設定により表示は異なりますがそれぞれの端子の音量調整となります。



■スピーカー設定

- ステレオ
 - 4チャンネル方式
 - 5.1 サラウンド
 - 7.1 サラウンド
- から選択できます。



■サンプルレート
KHz 数と Bits 数の変更ができます。

- 44.1KHz
- 48KHz
- 96KHz
- 192KHz

- 16Bits
- 24Bits



■イコライザー



■環境エフェクト

コンサートホールや密閉室といった環境をバーチャルに再現し音を楽しむ事が出来ます。



■7.1 仮想スピーカーシフト



■フレックス・バス II
低重音を調節します。



■Xear Sing FX
キーの上げ下げが可能です。
人の声を中和しボーカルを聞こえ
ずらくします。



■Xear Surround Headphone
ヘッドフォンの音が立体的になります。



■Xear Surround Speaker
スピーカーの音が立体的になります。



■Xear Audio Brilliant
音を強くし、より解像度を増します。



■Xear Dynamic Bass

- ・低音レベル
- ・カットオフ周波数



■Xear Smart Volume

Volume レベルを調整できます。



■Xear Voice Clarity

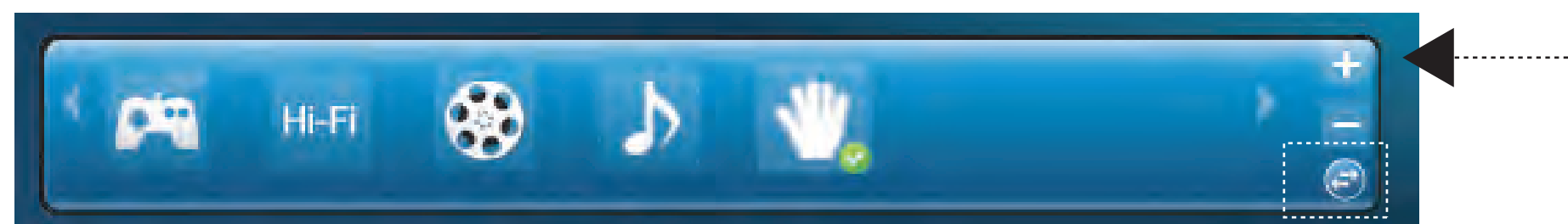
Voice Clarity レベルを調整できます。
ノイズや背景の音楽を消します。
人の声を強調します。



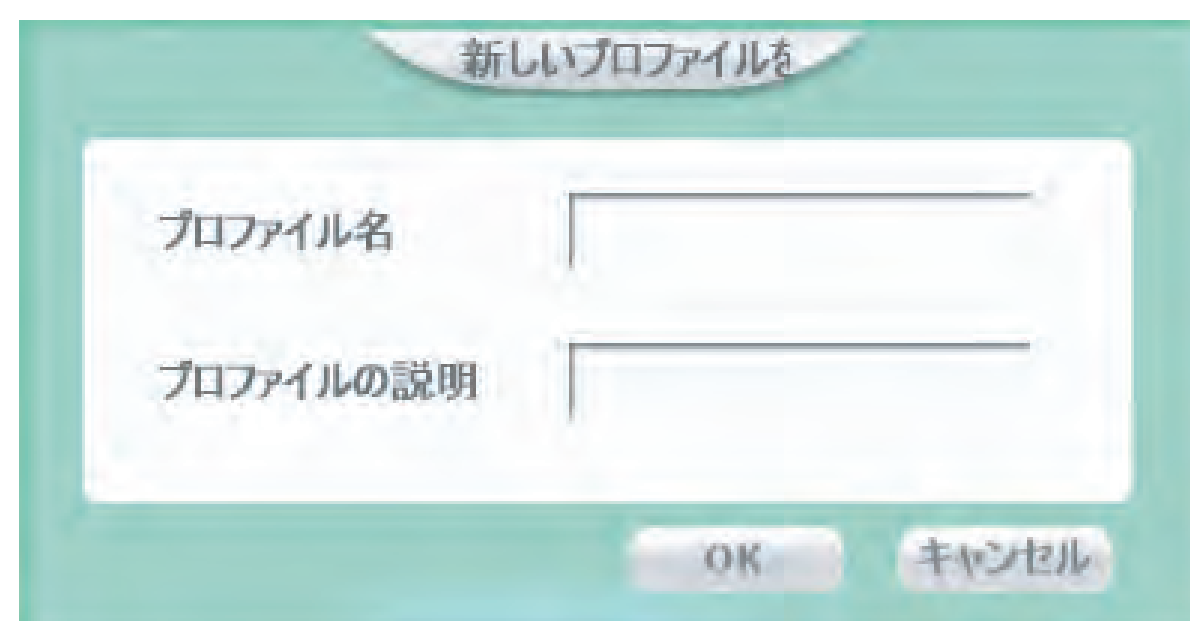
■Xear Surround Max

サラウンド効果をさらに強く効果があります。
(音の立体感をさらに強くする)

■ステータスバーの切替

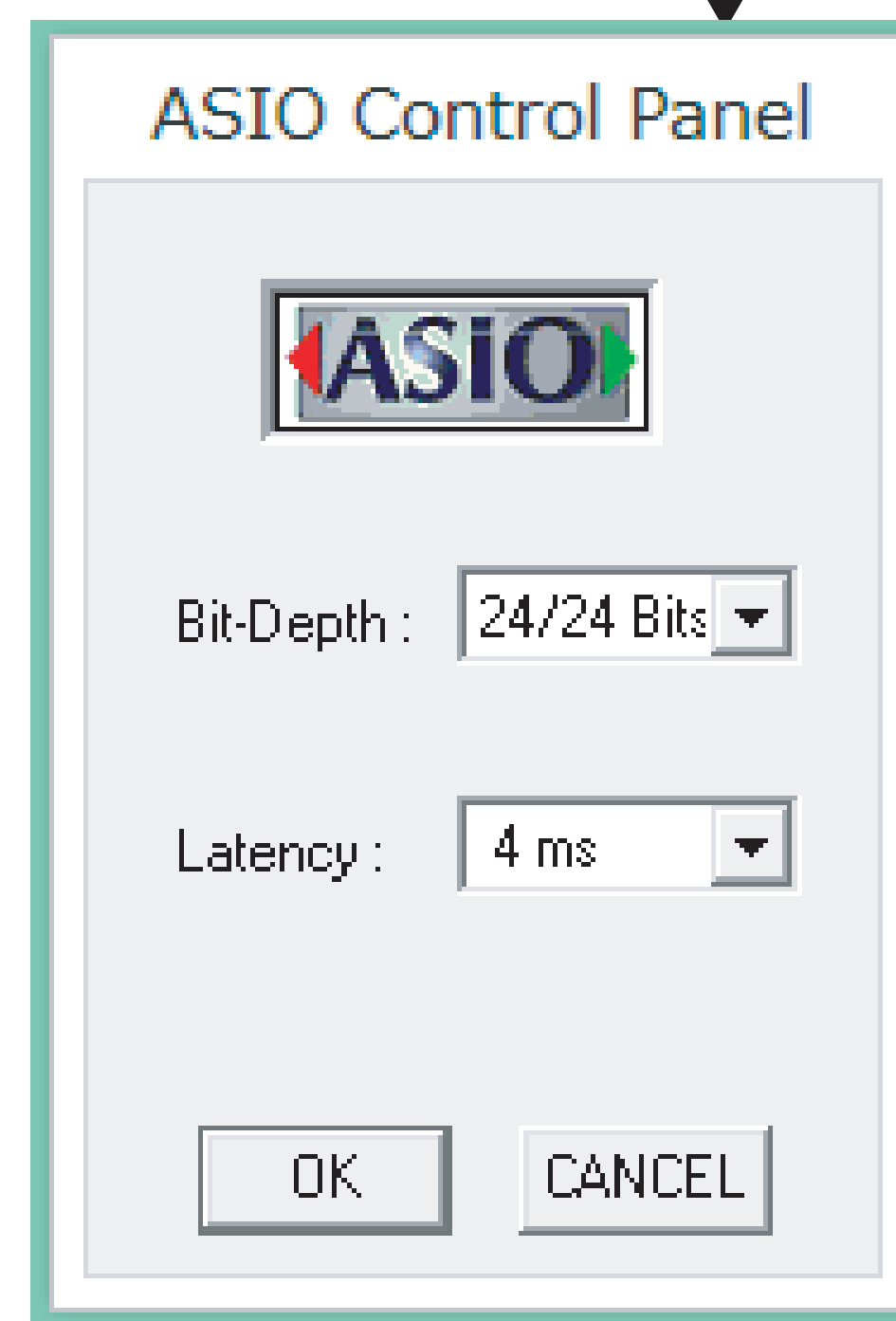


こちらのボタンでステータスバーを切替る事ができます。
ステータスバーには予め設定をした物が登録されています
のでお好みに併せてお試しください。
またご自分の設定を登録したい際は EX ボタンを ON にして
頂いた状態で + をクリックして下さい。



新しいプロファイルというウィンドが開きますのでプロファイル名を入力して頂き、
OK をクリックして頂きますとステータスバーに新しいアイコンが登録されます。

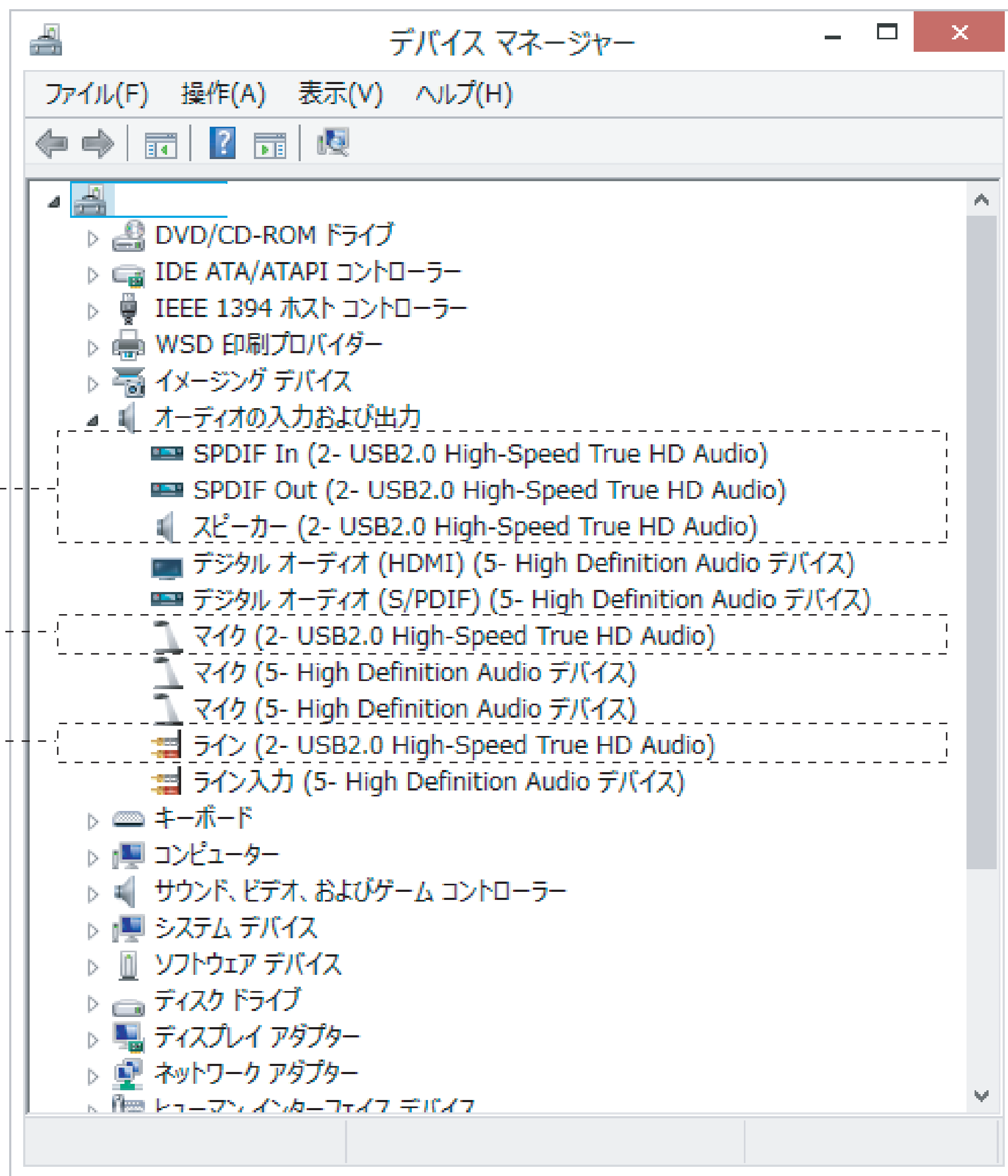
■ASIO



ソフト画面右上にあります ASIO という
ボタンを押して頂くと左画面が表示され
ます。
ここで ASIO 使用時の
Bit - Depth
Latency
を選択して頂く事が可能です。

※ASIO を使用するには ASIO 対応の
再生ソフトが必要となります。

■パソコンでの認識確認。



(2-USB2.0 High-Speed True HD Audio) の記載がある項目が本製品の認識となります。

上記図は Window8 での認識画面となります。

※ドライバの更新により表示名が変わる事がございます。

■Windows XP での Sound Mix

(Windows 8.1 / 8 / 7 ではこの表示はされません。)



Windows XP でご利用の場合 Sound Mix が表示されます。Sound Mix をご利用の際は左図のように ✓ を入れて下さい。



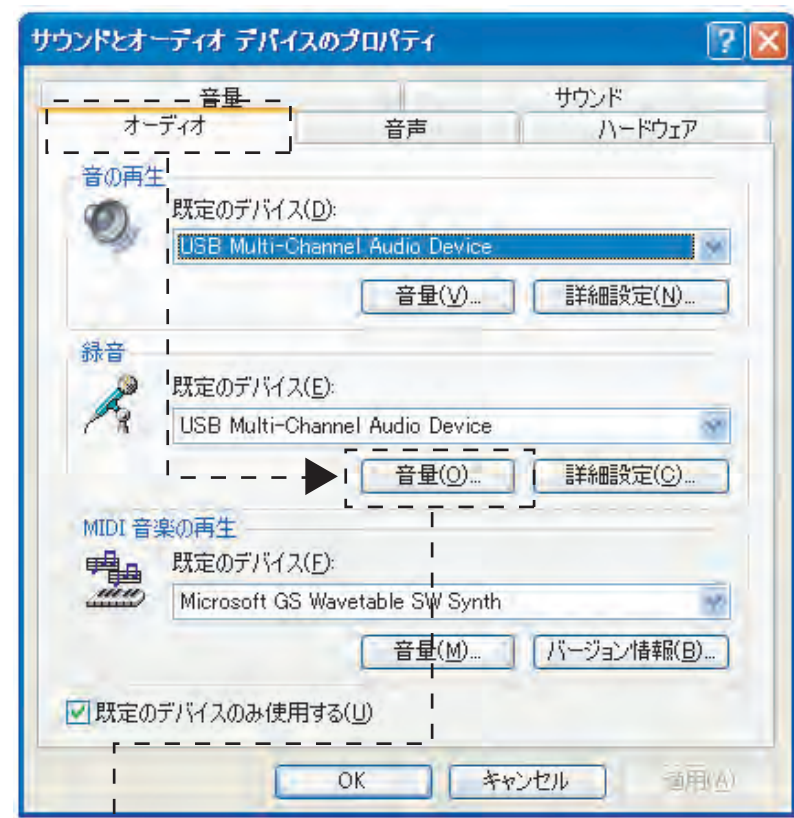
■音量コントロール



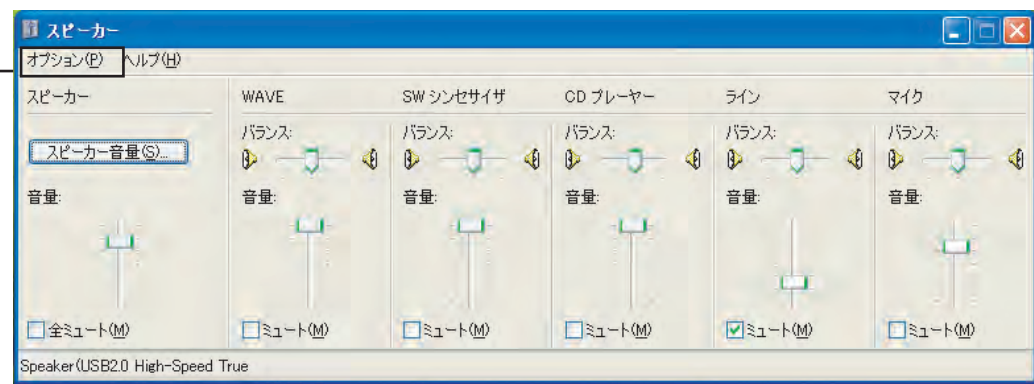
■サンプルレート

Windows XP で Sound Mix 時にマイク側の声が聞こえない際は下記をご確認下さい。

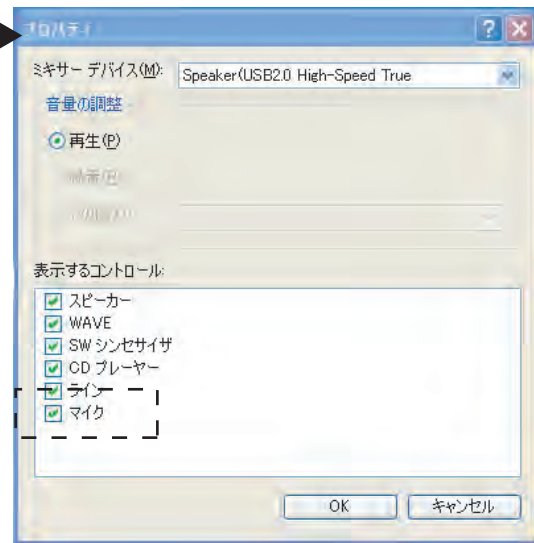
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル] より [サウンドとオーディオデバイス] をクリックして下さい。



[オーディオ] タブを選択して頂き、録音項目の音量をクリックして下さい。



オプションのプルダウンよりプロパティを開いて下さい。



マイクに ✓ を入れて下さい。-----

ミュートの ✓ を外して下さい。

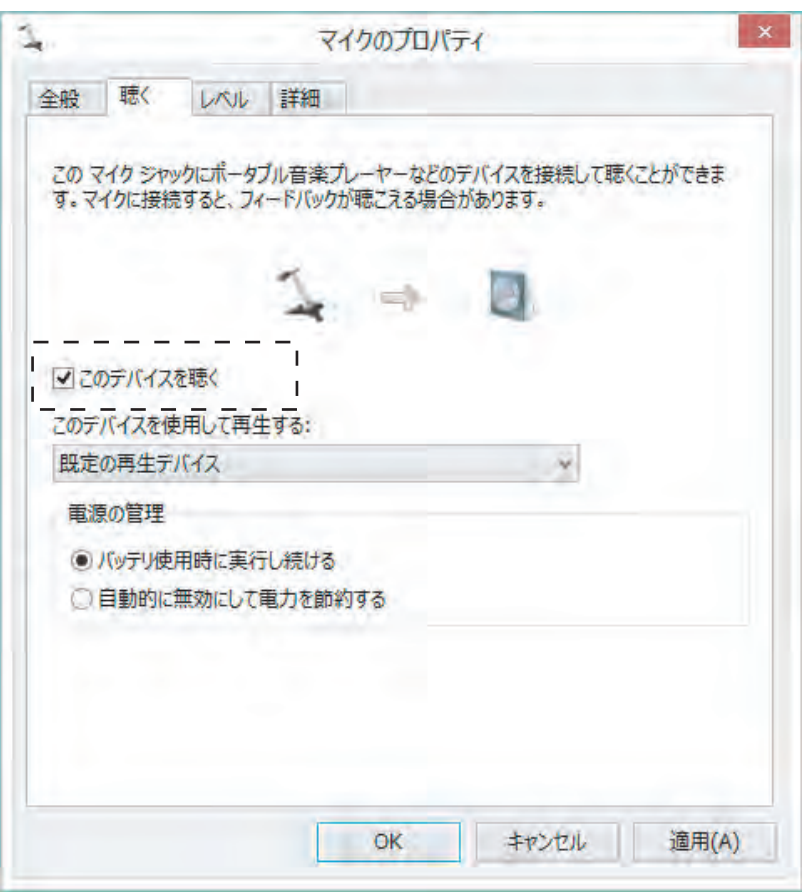
以上で設定の完了となります。

Windows 7 / 8 / 8.1 でマイク側の声が聞こえない際は下記をご確認下さい。

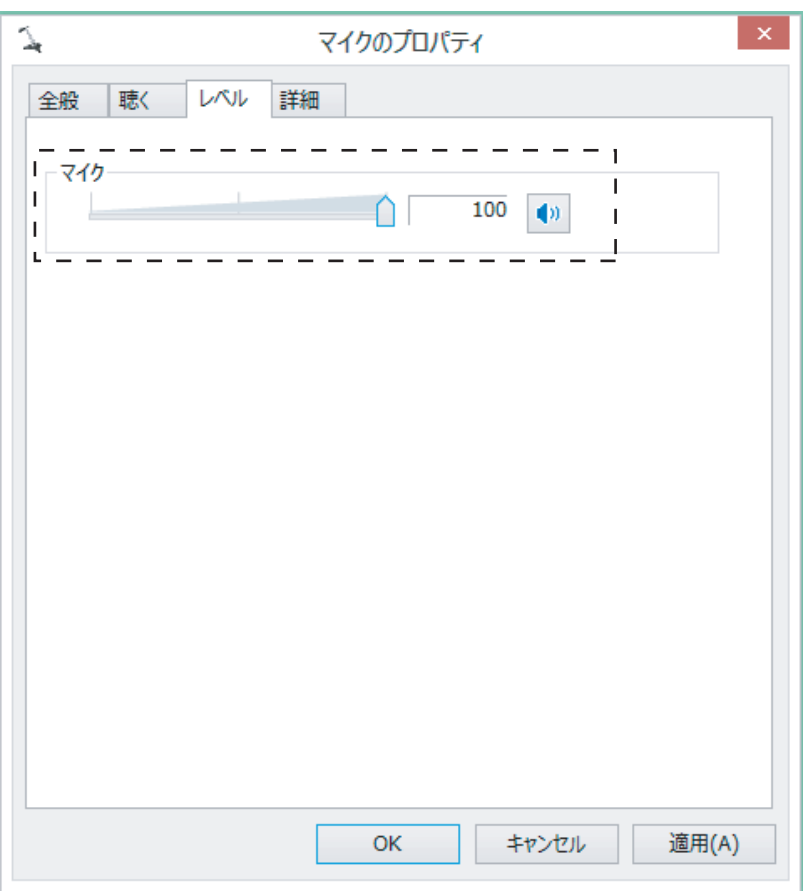
[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド] をクリックして下さい。



[録音] タブを選択して頂き [マイク USB Multi-Channel Audio Device] を右クリックして表示されるプロパティを選択して下さい。



[このデバイスを聴く] にチェックを入れて下さい。



レベルタブを選択して頂き、マイクのボリュームを調整して下さい。

故障かと思ったら

Q. 本体前面のボリュームコントロールが効きません。

A. はい、前面のボリュームコントロールは前面のヘッドフォン用端子用となります。
その他の端子より音を出力している際はご利用頂けません。

Q. マイクの音が聞こえない。

A. 製品付属のソフトで入力をマイクへ切り替えて頂いてもマイクの音が聞こえない際は
Windows 側のサウンド設定よりマイクのミュートのチェックが外れているかご確認ください。

Q. Digital out と ANALOG 端子に接続したマイクで SOUND MIX が出来ません。

A. はい、本製品の仕様上 SOUND MIX を行う際は ANALOG 端子に接続した機器同士で行って下さい。

Q. スピーカーからは声は聞こえるのに Skype 等で話をして相手にも自分の声が伝わりません。

A. ご利用になられているソフト側の設定で音声入力が本製品からの入力になっているかご確認ください。

Q. DIGITAL IN (SPDIF / COAXIAL) に接続したが音が入力されない。

A. DVD や Blu-ray の映像等のコンテンツによりましてはデジタル信号のコピーガード (SCMS) が
かかり入力はできません。

Q. 本製品を認識しません。

A. USB ハブに接続している場合は接続をパソコン本体側 USB ポートに接続をお試しください。
USB ハブはサポートしておりません。

ノートパソコンでご利用の際はパソコン本体の AC アダプタを接続した状態でご確認ください。
省電力モード等の兼ね合いで USB ポートへの電力供給量が低くなっている場合がございます。

デスクトップでご利用の際は本体背面の USB ポートに接続を行って下さい。
フロントの USB 端子に接続ですと内部をケーブルで引きまわしている関係上
電力が弱くなっている場合がございます。

Q. 音楽の再生を止めても PowerLED の点滅が止まりません。

A. ご利用のソフトウェアによりましてはこの症状が起こります。
iTunes や Quick Time でこの症状を確認していますが、これは一時停止を音楽再生と判別
出来ない為でございます。
Windows Media Player や GOM PLAYER では同症状は出ておりませんのでご利用の再生ソフト
の変更をお試しください。
(14 年 3 月現在)

Q. 付属の CD を読み込めません。

A. ご利用のパソコンに光学ドライブを搭載していない等でドライバ CD を読みこめない際は
弊社ドライバダウンロードサイトよりダウンロードを行って下さい。

<http://www.area-powers.jp/driverdownloadpage.html>

Q. SPDIF 入力より直接 SPDIF に出力できますか。

A. いいえ、本製品ではサポートしておりません。

また、SCMS 信号を付加されているデータを入力する事は不可能となります。
入力音源をそのまま出力音源と出来るソフトウェアをご利用ください。